

愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 教員公募

1. 募集人員 教授，准教授又は講師 1名
2. 所属学科 環境デザイン学科（環境サステナビリティコース）
3. 専門分野 地球環境学^{*1}，持続可能性科学・サステナビリティ学^{*2}
(持続可能な発展のために多様な地域のステークホルダーと協働しながら、環境問題をはじめとする様々な課題に対して解決策を企画，立案し，地域とともに社会実装を進めていくことができる実践的な教育，研究を行うことができる人材を求めます。)
4. 待遇 本学の定めによります
5. 雇用条件 (1) 給与は，年俸制を適用する
(2) 講師の場合は，テニユア教員育成制度適用(任期5年)
※愛媛大学のテニユア教員育成制度についての詳細は，注)をご覧ください。
6. 主要担当授業科目 持続可能性科学，地球環境学，その他各種フィールド実習・演習など
7. 応募資格 次の各号をすべて満たす者
(1) 博士の学位を有する者
(2) 地球環境学，持続可能性科学のいずれか，または複数に関する研究業績を有する者
(3) フィールドワークを通じた教育・研究に意欲をもち，地域貢献に積極的にかかわることができる者
(4) SDGs の達成のための学内外の取り組みに積極的に参加し支援することができる者
8. 採用予定 令和3年4月1日（木）
9. 応募期限 令和2年9月30日（水）必着
10. 選考方法 第1次選考 書類選考
第2次選考 面接・模擬授業
(※第2次選考の旅費等は応募者負担となります。)
11. 提出書類 ※下記(1)～(8)の提出書類を郵送し，かつ(1)～(7)の電子ファイル(WordまたはExcel)をメールでも送付してください。
(1) 履歴書
(2) 研究業績
(3) 教育業績
(4) その他の業績
(5) 現在までの教育研究内容の要約
(6) 今後の教育研究活動に対する抱負
(7) これまでに獲得した研究助成一覧
(8) 主要な研究業績の別刷 5 編以内(コピー可)
※上記提出書類 (1)～(7)については，愛媛大学ホームページ
<https://www.ehime-u.ac.jp/post-127229/>に掲載している様式に従い

作成してください。

なお、提出書類の返却には応じかねます。あらかじめご了承ください。

不採用時には、本学部の責任において応募書類を廃棄処分します。

1.2. 書類送付先

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

愛媛大学社会共創学部 環境デザイン学科長 宛

電話：089-927-8927（愛媛大学社会共創学部事務課）

電子メール：crisoumu@stu.ehime-u.ac.jp（愛媛大学社会共創学部事務課）

（送付物の表面に「環境デザイン学科教員応募書類」と朱筆し、「書留」「宅配便」等、配達記録が残る形で送付してください。）

1.3. 選考結果の通知

採否の結果については、決定次第、履歴書記載の住所へ送付いたします。

1.4. 問合せ先

書類送付先と同じ

1.5. その他

(1)男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています。

- ・若手研究者キャリア支援事業：若手研究者（出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者）に研究活動の維持・促進、キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。
- ・女性研究者支援員制度：出産・育児・病気が等治療・介護・管理運営等業務のため研究活動に支障が生じた場合、事案ごとに、女性研究者本人、または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。
- ・Dual Career 支援制度：教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合、該当研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。
- ・保育施設：「えみかキッズ」（城北キャンパス）、「あいあいキッズ」（重信キャンパス医学部附属病院保育施設）の2箇所を設置しています。「あいあいキッズ」には、病児保育制度もあります。
- ・学童保育：春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。また、「あいあいキッズ」では、通年の学童保育を実施しています。

(2)個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。なお、選考結果を愛媛大学ホームページで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。

※1「地球環境学」：豊かな生物多様性と生態系サービスを支える地球環境の多様性を研究し、地球環境問題の現状とその根源に横たわる南北問題について理解することが必要とされている。地球の管理者としての人類の責に立脚して、地域からグローバルまでのさまざまなレベルでの、地球環境問題の解決のための道筋を研究・教育していくことが求められている。

※2「持続可能性科学・サステナビリティ学」：持続可能な社会の構築は、人類全体の、また個々の地域社会や個人の生活の未来を左右する重要な課題である。レジリエンス、ガバナンス、生態系サービ

ス、リスク、人間の福利などの多面的な観点から研究・教育活動を行っていく必要がある。また、持続可能な社会を実現するために地域社会の中でそれぞれのステークホルダーが果たすべき役割について実践活動を通じて明らかにしていくことも求められている。

注) テニユア教員育成制度

愛媛大学では、教育・研究・マネジメントにバランスの取れた総合力の高い大学教員の育成を目指して、平成 25 年 4 月から「テニユア教員育成制度」を導入しました。新規採用された講師、助教ならびに一部の実務家教員等（教授、准教授等）について、5 年の任期中の最初の 3 年間で、本学教員としての業務全般に関わる能力開発プログラム（合計 100 時間以上）と、研究費の配分等の財政的支援を提供します。期間中の 3 年目に中間審査を、5 年目に最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職（終身雇用）に移行させます。ただし、最終審査に不合格となった場合は、5 年で任期満了となります。なお、詳細については本制度に関するホームページ

（URL：<http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>）をご覧ください。